



オオウラジロノキ (バラ科)



チゴユリ (ユリ科)



ヤマツツジ (ツツジ科)

植物は、そのやぶの表面をおおい、高木にからみついて十分な日光を受けようとする。その結果、林内を風が吹き抜けたり強い陽射しが入り込むこともなくなり、地面の乾燥や温度・湿度の変化がおきえられ、植物にとっての環境が安定したものとなるのである。すなわち林縁のやぶは、風や強い陽射しから植物を守る「マント」のはたらきをしているのである。高山など環境の厳しいところほどマント群落のはたらきは重要である。中部日本の有名な観光地では、長年多額の費用をかけて観光道路ぞいのやぶの刈りはらいをつづけたために、樹木の立ち枯れだけでなくひどいところでは土砂崩れまで引く起こして